

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社 石井工作研究所 上場取引所 大
 コード番号 6314 URL http://www.i-kk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井見敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理部長 (氏名) 辻野治弘 TEL 097-544-1001
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,532	△13.6	△356	—	△338	—	△390	—
24年3月期第3四半期	1,774	△11.3	△323	—	△286	—	△219	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△50.23	—
24年3月期第3四半期	△28.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	6,104	4,984	81.6	641.24
24年3月期	6,591	5,409	82.1	695.94

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,984百万円 24年3月期 5,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	△6.3	△125	—	△110	—	△185	—	△23.80

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	7,800,000株	24年3月期	7,800,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	27,230株	24年3月期	27,002株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	7,772,854株	24年3月期3Q	7,773,123株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 1「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5
(5) セグメント情報等	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、第1四半期に総じて回復傾向を辿ったものの、第2四半期には世界経済の減速を受けて輸出が振るわず、生産活動も盛り上がり欠けるなど、景気が鈍化し、第3四半期には震災復興需要の後ずれが下支えするも、国内民需の基調は脆弱で、エコカー補助金終了による自動車販売の反動減や日中摩擦の影響による輸出の下振れなどから、その鈍化傾向がさらに強まることとなりました。

半導体業界では、スマートフォン関連は新製品効果もあって比較的堅調に推移しているものの、PC、携帯電話、TV等の従来型セット製品の需要低迷が続き、円高による電子機器の輸出不振などから業界環境は悪化しており、ほとんどの半導体メーカーにおいて設備投資には極めて慎重な対応がみられました。

このような経済状況のもとで、当社は半導体関連事業を中心に活発な受注活動を推進し、特にパワー半導体関連製造装置の受注には注力し、また、納期短縮を図り、お客様のニーズに即した製品開発に努めるとともに、購入品や材料等の仕入価格低減や販売費及び一般管理費の節減など経費節減に努めましたが、受注が伸び悩み、時期によりその振れが大きく、収益状況は好転しませんでした。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高15億3千2百万円（前年同四半期比13.6%減）となり、営業損失3億5千6百万円（前年同四半期は営業損失3億2千3百万円）、経常損失3億3千8百万円（前年同四半期は経常損失2億8千6百万円）、四半期純損失3億9千万円（前年同四半期は四半期純損失2億1千9百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①半導体関連事業

受注活動を活発に展開したものの、総合的に受注が伸び悩み、全売上高の99.3%を占める半導体関連事業の売上高は、前年同四半期比12.6%減少し、15億2千1百万円となりました。

②その他

不動産・建築関連事業及び浄水事業の売上高は1千万円（前年同期比66.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は29億9百万円となり、前会計年度末に比べ3億8千5百万円減少いたしました。これは仕掛品が1億1千2百万円増加したものの、現金及び預金が3億8百万円及び受取手形及び売掛金が2億1百万円減少したことによるものであります。固定資産は31億9千5百万円となり、前会計年度末に比べ1億1百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が6千4百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は61億4百万円となり、前会計年度末に比べ4億8千6百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は5億7千3百万円となり、前会計年度末に比べ4千1百万円増加いたしました。これは主に引当金が3千9百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が7千9百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億4千7百万円となり、前会計年度末に比べ1億3百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が5千万円及びその他固定負債が5千2百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、11億2千万円となり、前会計年度末に比べ6千1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は49億8千4百万円となり、前会計年度末に比べ4億2千5百万円減少いたしました。これは主に当期純損失の計上3億9千万円及び剰余金の配当3千8百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は81.6%（前会計年度末は82.1%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の業績予想については、平成24年11月12日付当社「平成25年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました金額に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433,909	1,125,672
受取手形及び売掛金	1,245,412	1,043,978
商品及び製品	197,550	215,668
仕掛品	238,983	351,717
原材料及び貯蔵品	143,897	154,168
その他	59,646	42,398
貸倒引当金	△24,381	△24,213
流動資産合計	3,295,020	2,909,390
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	721,320	695,093
土地	1,820,173	1,820,173
その他(純額)	228,920	190,196
有形固定資産合計	2,770,414	2,705,463
無形固定資産	37,722	33,574
投資その他の資産	488,635	456,452
固定資産合計	3,296,772	3,195,490
資産合計	6,591,792	6,104,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,514	428,847
未払法人税等	10,567	5,499
引当金	55,030	15,740
その他	116,516	122,993
流動負債合計	531,628	573,079
固定負債		
役員退職慰労引当金	481,632	431,584
その他	169,007	116,043
固定負債合計	650,640	547,628
負債合計	1,182,268	1,120,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,186,300	1,186,300
資本剰余金	2,757,259	2,757,259
利益剰余金	1,507,595	1,078,299
自己株式	△11,449	△11,491
株主資本合計	5,439,705	5,010,367
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,181	△26,194
評価・換算差額等合計	△30,181	△26,194
純資産合計	5,409,524	4,984,172
負債純資産合計	6,591,792	6,104,880

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,774,037	1,532,652
売上原価	1,634,042	1,459,810
売上総利益	139,994	72,842
販売費及び一般管理費	463,386	429,766
営業損失(△)	△323,392	△356,924
営業外収益		
受取利息	1,899	2,707
受取配当金	6,812	7,098
投資不動産売却益	22,454	5,554
その他	6,675	4,607
営業外収益合計	37,842	19,967
営業外費用		
支払利息	—	1,002
為替差損	323	—
その他	458	228
営業外費用合計	782	1,230
経常損失(△)	△286,332	△338,186
特別利益		
固定資産売却益	895	—
特別利益合計	895	—
特別損失		
固定資産除却損	45	952
役員退職慰労金	—	61,469
投資有価証券評価損	—	30,000
特別損失合計	45	92,421
税引前四半期純損失(△)	△285,482	△430,607
法人税、住民税及び事業税	3,551	3,551
法人税等調整額	△69,767	△43,728
法人税等合計	△66,216	△40,176
四半期純損失(△)	△219,266	△390,431

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	半導体関連事業		
売上高			
外部顧客への売上高	1,740,894	33,142	1,774,037
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,740,894	33,142	1,774,037
セグメント損失(△)	△56,836	△56,217	△113,054

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産・建築関連事業及び浄水事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△56,836
「その他」の区分の損失	△56,217
全社費用(注)	△210,338
四半期損益計算書の営業損失(△)	△323,392

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	半導体関連事業		
売上高			
外部顧客への売上高	1,521,670	10,981	1,532,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,521,670	10,981	1,532,652
セグメント損失(△)	△109,478	△47,982	△157,460

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産・建築関連事業及び浄水事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△109,478
「その他」の区分の損失	△47,982
全社費用(注)	△199,463
四半期損益計算書の営業損失(△)	△356,924

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。